

# 労働者に犠牲強いる

# 減量合理化許すな



発行所  
三池炭鉱労働組合  
大牟田市入船町1番地  
電話(53)3033~4  
編集兼人 杉本一男  
発行人 杉本一男  
半年間 1,200円 送料共  
振替口座番号  
労金大牟田  
0968946-005

公判のお知らせ  
11・9 三池炭鉱裁判公判  
七月九日午後一時から、福岡地方裁判所。(54回)  
9・28 坑内火災裁判公判  
八月三十日午後一時二十分から福岡地方裁判所。(45回)

生命けずる  
健保改悪を  
阻止しよう

④ 浴場は九月末で廃止する。などを回答しましたが、三池労組としては硬捨て場問題、地域住民の生活環境(交通・騒音)問題、安全対策、その他の条件などについて追及し交渉しています。

## 恒久的な硬捨て対策を 通勤の足を確保せよ

有明鉱大災害から五月が過ぎました。会社は、有明災害による損失分を含めた累積赤字を取り戻すために次々と減量合理化を計画し、その犠牲を労働者に押しつけておられます。すでに新賃金の精算繰り延べや特定休日の自由行使増加を強行し、さらに昨年末から提案していた通勤電車の廃止、硬捨てにもなる宮内社宅の全面撤去、また長溝社宅の浴場廃止、貯木場の統廃合を提案、強行の構えです。近く社宅の統廃合、坑外の統廃合を提案するとしています。

宮内社宅  
会社は、硬捨て用地確保を理由に宮内社宅を全面撤去したいので九月末までに移転を完了して三式で投棄するつもりです。三

池田組では、その場しのぎの対策や、宮内社宅の全面立ち退きだけで硬捨て問題は解決しないとして恒久的な対策を求めています。会社の提案に対して、

- ① 全面撤去には反対。
  - ② 社宅居住者や周辺地域住民に迷惑のかけない恒久的な硬捨て場を確保すること。
  - ③ 会社都合で転居する場合の諸条件を引き上げること。
  - ④ 十分な安全対策を講ずること。
- これに対し会社は、
- ① 九月三十日までに撤去を終わ
  - ② 転居の条件として、
  - ③ 転居先と賃借については本人の意思を十分聞く。
  - ④ 転居料として八万円を支給する。

## 有明鉱で発破事故

### 発破位置規程守られず

六月十一日午後八時二十分ごろ、有明鉱第二層切り替え西十五五程では発破箇所から点火位置まで西七片拵面作りの掘進現場で、第三回目の発破をうった際、飛び石で発破をついた係員の石橋利美さん(四十二歳)が右脇腹に直撃を受け強く打撲しました。

現場は半岩盤であり、発破規程では発破箇所から点火位置まで百メートルの距離を設けることになっていますが、このときの距離は四十六メートルしかとられておらず、発破規程が守られていなかったのが問題になっており調査中



硬捨てによる全面撤去が予定されている宮内社宅  
(現在の投棄場所附近から)

## 真谷地鉱で死亡災害

六月二日午後八時五十分ごろ、北炭(北海道炭鉱汽船)真谷地炭鉱坑北第十一層第一層一番上層本向ゲート分岐所で足場作りのために枠脚取り入れ中、進入してきた電車が足台にひっかかり足台とアーチ枠にはさまれて、掘進(下請工)の曾田馨さん(四十六歳)が死亡されました。罹災された曾田さんと遺族に心から哀悼の意を表するとともに、災害を引き起こした会社に強く抗議します。

## 炭労大会に向けて

七月十一日から三日間の予定で開催される炭労第一〇六回定期大会に向けて、六月十六日の委員会で炭労本部から議案書についての説明があり、対策案とともに大衆討議に入ります。集約の委員会は六月三十日に予定されています。

## 本年度は1700万トン

石炭生産 前年比30万トン増

通産省は六月十二日石炭審(石炭産業審議会・稲山嘉寛会長)のくまでもととしており、北海道政策・経営合同部会を開き、五十九年度の石炭減産合理化実施計画を報告、了承されました。

この計画によると、国内炭生産量は前年度に比べ一・八パーセント増で約三分の二を占め、生産ト、約三十万トン増の一千七百万トンとされています。

有明鉱災害などで前年度炭産量が六十五万トン減少した三池炭鉱を進めるとしています。

## 地底

▼今年梅が豊作。梅干しや梅焼酎を漬け込むのはうれしいが、ただ紫蘇が不足という。いよいよ本格的な梅雨模様になるが、うまいうき合いたいもの。「梅も草もいつかにて梅雨はじまりぬ」(日野軍城)

▼厚生省のまとめによると、昨年一年間の自殺者は前年より一挙に四千三百人増えて約二万五千人と、これまでの最高とか。とくに四十歳、五十歳の男性の増加が著しく増加数の半数を占めている。生活水準は十年前と比べてほぼ同じだが、職場での合理化は徹底し追い詰められている証か。昭和一ケタ代の受難が続く。

▼サラリーマンの小遣いは、月平均四万一千四百円という調査結果が出た。そして、八割の人が「足りない」と答えており、実際にはボーナスや貯金で補って五万三千円使っている。それでも『酒』や『たばこ』を節約しなければならぬ。周囲に聞いたら「そんなに小遣いにまで格差を強いている。……核兵器の使用は保有国の勝手」と中曽根首相。世論がきびしいのに驚き「言っていない」と煙草を吸ったが、その後も「使わせないことは主権の侵略」と述べた。核戦争になればすべての国々に、すべての人びとを絶滅させることになる。そんな主権を認める者は一人としていないはずだ。こんな首相の暴言は許せない。

▼田中への「辞職勧告」を拒否したまま国会審議は再開したが、健保改悪案をめぐる情勢が重要な段階に入った。この憲法を若干の修正で通そうとする政府・自民党の手のひらに乗っかってはならない。なにひとつ解決できないままロンドン・サミットから帰った中曽根首相の軍拡、社会保障削減の強行に有効な反撃を……。